

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月13日

上場会社名 酒井重工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6358 URL http://www.sakainet.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 吉川 孝郎 TEL 03-3434-3401
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年12月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	12,159	5.2	970	△2.4	945	△5.3	535	△36.6
26年3月期第2四半期	11,560	19.6	995	118.5	997	146.2	844	199.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 701百万円 (△50.2%) 26年3月期第2四半期 1,408百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	12.64	—
26年3月期第2四半期	19.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	33,200	17,052	51.3	401.68
26年3月期	31,885	16,566	51.9	390.16

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 17,031百万円 26年3月期 16,544百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	5.00	7.50
27年3月期	—	2.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

26年3月期期末配当金の内訳 普通配当 2円50銭 特別配当 2円50銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	△0.8	1,850	△15.8	1,650	△24.5	950	△45.1	22.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	42,620,172株	26年3月期	42,620,172株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	218,460株	26年3月期	216,108株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	42,403,119株	26年3月期2Q	42,413,433株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結地域区分別売上高表

区 分	当第2四半期連結累計期間 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日		前第2四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
国 内	5,952	48.9	6,234	53.9	△282	△4.5
海 外	6,207	51.1	5,325	46.1	881	16.6
北 米	2,498	20.6	1,391	12.1	1,106	79.5
アジア	2,829	23.3	3,188	27.6	△358	△11.2
中近東・ロシアCIS	318	2.6	292	2.5	26	9.0
その他	561	4.6	453	3.9	107	23.6
合 計	12,159	100.0	11,560	100.0	599	5.2

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）における当企業グループを取り囲む事業環境は、国内及び北米が好調に推移する一方、新興国では世界経済が減速する中で国毎にまだら模様の市場環境に変化して参りました。

このような情勢の下で当企業グループでは、好調な国内及び米国向け製品の増産対応を進めるとともに、中長期成長戦略である海外市場開拓と国際競争力強化策を引き続き進めて参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内向け販売が需要反動減をこなして底堅く推移するとともに、新興国における需要減速を好調な北米向け販売でカバーし、前年同期比5.2%増の121億5千万円とすることが出来ました。営業利益は技術研究費など投資的経費を増加させました結果、前年同期比2.4%減の9億7千万円に留まりました。経常利益は前年同期比5.3%減の9億4千万円。四半期純利益は、法人税負担の平常化に伴い、前年同期比36.6%減の5億3千万円となりました。

連結地域区分別売上高状況につきましては、次のとおりであります。

国内向け売上高は、期初の駆け込み需要反動減から第2四半期会計期間は増勢に転じ、前年同期比4.5%減の59億5千万円まで回復して参りました。

海外向け売上高は、新興国向け販売減少を北米向け販売拡大によってカバーし、前年同期比16.6%増の62億円と致しました。

北米向け売上高は、道路建設投資と住宅建設投資が堅調に推移する中、前年同期比79.5%増の24億9千万円に増加させることが出来ました。

アジア向け売上高は、インドネシアやタイなどで販売が弱含む中、中国やベトナムで販売を拡大致しましたが、前年同期比11.2%減の28億2千万円に留まりました。

中近東・ロシアCIS向け売上高は、イスラム国やウクライナなどの地政学的問題が頻発する先行き不透明な市場環境の中、前年同期比9.0%増の3億1千万円と致しました。

その他市場向け売上高は、中南米向け販売が順調に拡大し、前年同期比23.6%増の5億6千万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

		当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増 減	
				金 額	増減率
日 本	総売上高	百万円 9,577	百万円 9,961	百万円 △383	% △3.9
	営業利益	632	893	△261	△29.3
米 国	総売上高	2,662	1,406	1,256	89.3
	営業利益	75	△53	128	—
インドネシア	総売上高	2,765	2,568	197	7.7
	営業利益	279	223	55	25.0
中 国	総売上高	718	562	155	27.7
	営業利益	17	△18	36	—
調 整 額	総売上高	△3,564	△2,938	△625	—
	営業利益	△34	△50	15	—
連 結	総売上高	12,159	11,560	599	5.2
	営業利益	970	995	△24	△2.4

日本

期初の国内需要反動減と新興国向け販売減少の結果、総売上高は前年同期比3.9%減の95億7千万円、営業利益は前年同期比29.3%減の6億3千万円となりました。

海外

米国では、事業環境が好転する中で総売上高を前年同期比89.3%増の26億6千万円まで増加させ、営業利益を7千万円と致しました。インドネシアでは、国内販売の減少を製品輸出とグループ内への生産部品輸出でカバーし、総売上高を前年同期比7.7%増の27億6千万円、営業利益を前年同期比25.0%増の2億7千万円と致しました。中国では、国内向け販売の底入れにより総売上高を前年同期比27.7%増の7億1千万円とし、営業利益を1千万円と致しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ13億1千万円増加し、332億円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が15億3千万円増加、たな卸資産が4億7千万円増加し、受取手形及び売掛金が15億3千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ7億円増加し、238億4千万円となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産が9千万円増加、投資有価証券が3億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ6億円増加し、93億5千万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が4億6千万円増加、短期借入金が16億7千万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ22億円増加し、135億1千万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が14億9千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ13億8千万円減少し、26億3千万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が3億2千万円増加、その他有価証券評価差額金が2億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ4億8千万円増加し、170億5千万円となりました。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.6ポイント減少し、51.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後につきましては、国内では、東京オリンピックや国土強靱化計画など、当面は高い水準の需要環境が続くものと予想されます。海外につきましては、米国では引き続き強い需要環境が続くものと予想されますが、新興国では米金融緩和政策終了に伴う金融情勢変化や地政学的問題の頻発、エボラ出血熱の感染防止問題、資源価格の下落など、市場環境は予断を許さぬ不安定な状況が常態化して行くものと予想されます。

このような事業環境見通しの下で当企業グループでは、回復基調にある国内事業体制をしっかりと固めつつ海外事業における更なる成長を目指すべく、国内事業体制の再構築、海外市場開拓の更なる積極化、経済激動に備えた需要変化対応力の強化、国際競争力強化の為に開発技術力と組織実行力の底上げ、グループ経営管理体制の強化を進めて参ります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,730,223	7,266,000
受取手形及び売掛金	9,162,496	7,629,900
商品及び製品	3,603,223	3,796,637
仕掛品	1,460,369	1,544,865
原材料及び貯蔵品	2,719,132	2,913,759
その他	459,189	693,458
貸倒引当金	△3,822	△3,809
流動資産合計	23,130,812	23,840,812
固定資産		
有形固定資産	4,539,231	4,635,442
無形固定資産	204,805	257,758
投資その他の資産		
投資有価証券	2,942,570	3,248,634
長期貸付金	150	168
その他	1,068,376	1,217,546
貸倒引当金	△210	△210
投資その他の資産合計	4,010,886	4,466,138
固定資産合計	8,754,923	9,359,338
資産合計	31,885,736	33,200,151
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,578,261	6,039,188
短期借入金	4,075,351	5,746,591
未払法人税等	303,226	441,171
引当金	146,626	83,364
その他	1,204,767	1,207,282
流動負債合計	11,308,233	13,517,599
固定負債		
長期借入金	2,920,326	1,420,345
退職給付に係る負債	62,553	65,698
その他	1,028,497	1,144,242
固定負債合計	4,011,377	2,630,286
負債合計	15,319,611	16,147,885

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,115,199	3,115,199
資本剰余金	6,361,142	6,361,142
利益剰余金	5,897,050	6,220,819
自己株式	△50,623	△51,394
株主資本合計	15,322,768	15,645,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,111,968	1,320,987
為替換算調整勘定	110,473	65,826
退職給付に係る調整累計額	△660	△597
その他の包括利益累計額合計	1,221,780	1,386,217
少数株主持分	21,576	20,282
純資産合計	16,566,125	17,052,265
負債純資産合計	31,885,736	33,200,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	11,560,286	12,159,784
売上原価	8,518,924	8,976,450
売上総利益	3,041,362	3,183,333
販売費及び一般管理費		
運搬費	192,129	210,107
給料及び賞与	841,113	879,630
技術研究費	359,486	412,189
その他	653,494	710,505
販売費及び一般管理費合計	2,046,223	2,212,432
営業利益	995,138	970,901
営業外収益		
受取利息	2,138	1,771
受取配当金	32,820	42,741
その他	77,363	33,550
営業外収益合計	112,321	78,063
営業外費用		
支払利息	63,282	63,283
その他	46,360	40,430
営業外費用合計	109,643	103,713
経常利益	997,816	945,250
特別利益		
固定資産売却益	248	738
保険解約返戻金	41	—
特別利益合計	289	738
特別損失		
固定資産処分損	7,835	19,082
固定資産売却損	78	—
ゴルフ会員権評価損	400	—
特別損失合計	8,314	19,082
税金等調整前四半期純利益	989,792	926,906
法人税等	143,399	389,177
少数株主損益調整前四半期純利益	846,392	537,729
少数株主利益	1,835	1,940
四半期純利益	844,556	535,789

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	846,392	537,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	304,297	209,019
為替換算調整勘定	258,042	△45,490
退職給付に係る調整額	—	63
その他の包括利益合計	562,339	163,593
四半期包括利益	1,408,731	701,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,404,674	700,226
少数株主に係る四半期包括利益	4,057	1,096

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	989,792	926,906
減価償却費	185,981	231,920
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	221	△236
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,772	△63,262
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,796	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	4,694
受取利息及び受取配当金	△34,958	△44,513
支払利息	63,282	63,283
固定資産売却損益 (△は益)	△248	△738
固定資産処分損益 (△は益)	7,914	19,082
ゴルフ会員権評価損	400	—
売上債権の増減額 (△は増加)	506,787	1,531,744
たな卸資産の増減額 (△は増加)	317,400	△462,054
仕入債務の増減額 (△は減少)	484,861	467,433
未払費用の増減額 (△は減少)	△217,633	△175,215
その他	△128,930	△130,134
小計	2,178,440	2,368,910
利息及び配当金の受取額	34,896	41,803
利息の支払額	△64,440	△64,041
法人税等の支払額	△102,828	△270,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,046,067	2,076,186
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△6,003
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△169,517	△273,668
有形固定資産の売却による収入	4,932	1,319
無形固定資産の取得による支出	△25,573	△33,365
貸付けによる支出	—	△500
貸付金の回収による収入	4,260	365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,897	△311,851
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△305,819	132,450
長期借入れによる収入	230,000	—
長期借入金の返済による支出	△218,137	△47,710
自己株式の取得による支出	△1,774	△771
配当金の支払額	△106,040	△212,020
少数株主への配当金の支払額	△1,823	△2,390
その他	△65,273	△73,517
財務活動によるキャッシュ・フロー	△468,867	△203,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44,302	△25,287
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,446,998	1,535,087
現金及び現金同等物の期首残高	4,888,834	5,659,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,335,833	7,194,715

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。